

~ 三島市出身の若者が労働問題総合誌を創刊 ~

# 格差社会を変えるビジョンをつくりたい!

非正規雇用で働く人が激増し、年収100万円以下の人が100万人を突破した。若者の労働や貧困をテーマにした雑誌が相次いで創刊されている。作り手の中心は20代・30代の若者たち。NHK教育テレビの「福祉ネットワーク」に登場した『POSSE』は、若者の労働問題に取り組みNPO法人POSSEが発行した労働問題総合誌。編集人である三島市出身の坂倉昇平さん(25歳)に話を聞いた。

雑誌『POSSE』を創刊したのは、最近の若者の労働問題をめぐる議論に、ある危機感を感じていたからです。二、三年ほど前まで多かったのは、「フリーターやニートが増えているのは、若者の意識の問題だ。格差は若者の自己責任だ」という議論でした。それに対して、若者の労働環境が盛んに報道されたり、非正規雇用の労働運動が話題になるなどして、若者の格差は社会的な労働や貧困の問題だという認識が広まってきました。この転換には大きな意義があったと思います。

一方で、こうした議論は再び、ターニングポイントを迎えていると思います。単に若者の悲惨さをセンセーショナルに告発するだけ、就職氷河期世代だけでなく、格差の社会

的な原因を一時的な不景気による世代間の不公平の問題に還元してしまっている。最近、金融危機の影響で、第二就職氷河期などという表現も出てきています。しかし、こうした格差は、景気や世代以前にグローバル化やこれまでの日本の雇用や福祉制度に起因する構造的な問題であり、世代を超えて今後も続いていく問題です。例えば、「氷河期世代」以降に正社員になった若者でも、一時的な景気回復の恩恵を受けていると思われがちですが、「周辺の正社員」と言われるように、非正規と大した差がないのが実態です。ところが、世代論をとる多くの格差議論は、そうした問題には鈍感です。このままでは、労働や



POSSE創刊号表紙

貧困に関する議論が、つわべだけの格差ブームに終わってしまったのではない。そうなる前に、労働問題に関する議論は次の段階にいかなくてはならない。若者が安心して働ける社会をつくりだしていくためには、表面的、抽象的に社会的責任を問うだけでなく、その構造を分析し、そして労働市場のあり方など法制度改革や労働運動のヴィジョンを具体的に議論することが必要ははずです。でも、その媒体がどこにもありませんでした。だから自分たちで創刊したのです。

なお、本誌ではサブカルチャーやライフスタイルのありかたに關連して労働問題特集するなどの、文化的な企画にも力を入れていきます。労働問題という、誰もが経験する問題であるにも関わらず、日常生活からかけ離れたものとして語られがちです。特に私たち若

者の間においてそれは顕著だと思えます。ですから、文化という媒体を通じて、若者の中で労働に関する議論をより浸透させていくことも重要な目的の一つです。

聞き手 I

**あまの裁判所**

裁判員A 「きたきた来たたよあの人。ワイ素敵。犯人というけれど、いい男ね。テレビで見たい男って実物のほうがいいわ。私のタイプ。」

裁判員B 「本当ね。ヨソ様そっくりじゃない? もつという男かしら。あつ、こっち向いたもつだめ私。あの腫で見つめられたらいつべんにハートを射貫かれてしまったわ。」

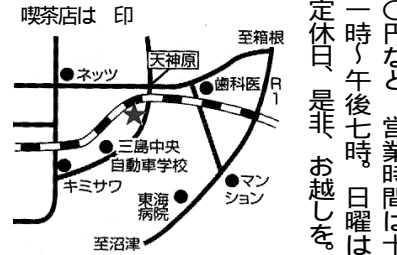
裁判員A 「私も全身ビリビリするわ。あの人の人を強奪のうえ、焼き殺も誠実そうだし。わかる

**喫茶店「唐良里」から**

シリーズ 街中の喫茶店(9) 加茂山町四二五六

旭ヶ丘団地の道を南下し初音台に抜ける道路の交差点から数10m南、南方向に向かつて右手に喫茶店「唐良里」がある。十月にオープンしたばかり、店の名前由来は、旦那さんの出が佐賀県唐津、奥さんが西伊豆の安良里から取ったこと。

店主は奥さんの中嶋佐和子さん、以前から自宅で何か商売をしていたと思っていたが、三年くらい前、山で珈琲の焙煎教室に出掛けたのが切っ掛け。「焼きたての新鮮なコーヒーの美味しさを知った」といって、絶対そんなはずはないね、本當に優しそうだし、見た目も誠実そうだし。わかる



**オーストリア紀行**

老人たちが大活躍

オーストリアを旅行して、老人たちが生き生きと活躍していることにびっくり。ミラベル宮殿の庭園と地続きのホテルに泊まりましたが、早朝から庭の手入れをされているの、かなりの年配の人たちです。大型の芝刈り車を元気に運転していきまし

た。また、現地の観光ツアーでは、運転手、ガイドともかなりの高齢者。しかも、それはそれだけではなく、仕事をしてい

ました。ドノウ川では、腰な権裁きでカヌーを漕いでいました。湖水地方でも、岸近くで、老夫婦が夏の強い日差しの中、ゆったりボートを漕いでいました。年輩も少なくありません。年輩も少なくありません。年輩も少なくありません。

○円など。営業時間は一時〜午後七時。日曜は定休日。是非、お越しを

**八乙女神社**

十月は秋祭りの時期。徳倉の八乙女神社で秋祭りが行われた。八乙女には天鈿女命(神代の神)が祀られており、付近には縄文・弥生土器や石器が多数出土することから、古代から地域の氏神様であったと思われる。また女神様であることから、鎮守様といふよりむしろ子玉・安産の神、或いは芸能の神として近郷の崇敬を受けていた事が、五十段の石段や二つの石製のお手洗針の文字から窺い知ることができ

る。この地域の神社でも祭りに来る子供の数は近年の少子化に加え、土

とをしながらの状況は打開できない、もとの練習や試合が優先といった生活様式の変化も一因と思われる。八乙女神社も例外ではなく、この数年の祭りは、子供だけでなく全体の人も出まらなかつた。例年と同じく

地域活動本

**八乙女神社も秋祭**

とをしながらの状況は打開できない、もとの練習や試合が優先といった生活様式の変化も一因と思われる。八乙女神社も例外ではなく、この数年の祭りは、子供だけでなく全体の人も出まらなかつた。例年と同じく

お説ひと訂正

前号「交差点」の最後を訂正いたします。裁判員は裁判員に当たるべきで、裁判員が裁判員に当たるべきではない。加わるべきではない。

**時事川柳**

飛ぶ鳥の籠見が落ちる貧の詐欺  
年金とペットの線が結ばない  
KYの三ツ星占める麻生さん  
選挙への買収金は2万円  
ボーナスで延期の住ひは軽すぎる

板倉 毅武

**晩秋**

アフガンに武器は不要とペシャワール種子を播くひと水路掘るひと  
父の目をめすみて読みし蟹平船 階級といつを識るはそのころ  
琴鳴らす重吉の秋はやさしくて風立つを見ろしかな眞昼  
捲るとき少しときめく審判員結果発表美術展の八ガキが届く

(私事ですが)  
浅野 和子

<p><b>楽々パソコン教室のご案内</b></p> <p>毎週水曜日 夜 生涯学習センター 5F (パソコン教室)</p> <p>午後7時~8時半 月4千円 1回1000円</p> <p>【個別指導対応】 ワード、エクセル、デジカメ、 画像処理、ホームページ作成等</p> <p>連絡先: 055-986-1301 (勝俣)</p>	<p><b>三島児童文学を語る会 358回</b></p> <p><b>12月例会のお知らせ</b></p> <p>日時: 12月13日(土)第2土曜 13時30分~16時30分</p> <p>場所: 三島市大町別館(防災センター)</p> <p>テキスト 「しよわっこ」 幼少年期</p> <p>P58 玉碎教育のはじまり前後を中心に 根橋章作「しよわっこ」(文芸社出版)1100円</p> <p>連絡先: TEL 971-3348(山口)</p>	<p><b>お気軽にどうぞ!</b></p> <p><b>みしま源氏物語」を読む会</b></p> <p>とき 毎月第1第3月曜日(月2回) 午前10時~11時半</p> <p>ところ 三島商工会議所 会議室 (市立文化会館向かい)</p> <p>会費 月2000円 (テキスト、資料代ほか含む)</p> <p>問合せ みしま源氏物語を読む会 055 972-4953</p>	<p><b>南京虐殺はなかったか?</b></p> <p>08年12月16日(火)午後6時45分</p> <p>会場 本町タワービル4F会議室</p> <p>内容 南京見学報告</p> <p>共催 みしま憲法9条の会 三島市民講座</p> <p>連絡先: 975-1349 (福尾) 973-1189 (栗原) 971-3348 (山口) 977-2016 (木内)</p>	<p><b>伊豆市民劇場 第314回例会</b></p> <p>民芸・無名塾公演</p> <p><b>ドライブ・ミステイ</b></p> <p>2009年2月13日(金)</p> <p>開演 / 18:30 終演 / 20:15</p> <p>作 / アルフレッド・ウィリアー 演出 / 丹野 郁弓</p> <p>演出 / 奈良岡朋子・仲代達也・千葉茂則・長森雅人</p> <p>「老いてなお、人が自分らしく生きることの、高潔さを描いた、暖かくも美しい感動の作!」</p> <p>連絡先: 975-5455 (事務局)</p> <p>三島市大町1-4-30 樺ビル101</p>
---	---	--	---	---